

タイトル

外来種「ジャンボタニシ」の駆除
(地域活動について)

活動の背景や目的、活動内容について（200字程度）

みどりの里川西活動組織は野木町の北部に位置し、ラムサール条約にも登録された渡良瀬遊水地が隣接する自然に富んだ地域となっている。近年、外来種であるジャンボタニシが大量発生し、卵塊による景観被害が顕著となっていた。上記の被害を受け、活動組織を筆頭にジャンボタニシの駆除を進めた。主な活動内容は、殺卵・捕殺がメインとなり駆除罠の作成や田畠輪換を行うことで個体数の減少に努めた。個体数が減少した現在も、定期的に活動を行っている。

活動の特徴や地域との繋がりについて（150字程度）

本活動はジャンボタニシという外来種の駆除を行っていることが特徴。ジャンボタニシは南米原産の外来種で入植直後の水稻の食害や景観被害など様々な悪影響を及ぼす。また、卵に毒を持つため、天敵といえる生物がおらず大量発生している。このままでは増加の一途のため、地域全体での駆除が必要となり、一丸となって駆除を進めている。

活動の効果波及について（150字程度）

駆除を通じ草刈りや泥上げのスキル向上だけでなく、活動の重要性・必要性について多くの地権者・耕作者に広め、個体数の減少に成功している。ジャンボタニシ対策を共有することで、他地区で発生した際に素早い対応が可能となり繁殖防止に役立つ。また、外来種駆除を行うことで生態系のバランスも整えられる。

推薦理由（200字程度）

ジャンボタニシが大量発生したことにより、卵塊による景観の悪化が深刻化した。生息数もとどまるなどを知らず、もはや個人での駆除には限界が見られていた。多面的機能支払交付金での駆除活動を通じ、地域全体で駆除活動に進められたことにより、個体数を大幅に削減することに成功した。また、駆除作業だけではなく、餌となる雑草を残さないように草刈りを行う等、通常の活動が駆除に繋がることで草刈りひとつにおいても大きな意味を持つするようになった。駆除を通じ、活動の意義を再確認していくことで、地域の多面的活動に対する理解を得られるようになっている。

この駆除活動は、他団体でも先進的な取り組みであり、同様の課題を抱える組織に参考になりえる活動として推薦する。